

関東森林管理局入札等監視委員会審議概要

(Webサイト掲載日: 令和3年5月10日)

開催日及び場所		令和3年1月13日(水) 書面審議				
委員		橋爪 健 (弁護士) 武藤 善行 (公認会計士) 天笠 美由紀 (ジャーナリスト)				
審議対象期間		令和2年1月1日 ~ 令和2年3月31日				
審議対象案件		159件	うち、1者応札案件 45件 契約の相手方が公益社団法人等の案件			
抽出案件		5件 (抽出率 3.1%)	うち、1者応札案件 1件 (抽出率 2.2%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件			
抽出案件内訳	工事	一般競争		88件	うち 1者応札 31件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型指名競争		該当なし	
			工事希望型競争		該当なし	
			その他の指名競争		該当なし	
		随意契約		0件		
	業務	一般競争		17件	うち、1者応札案件 2件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型競争		該当なし	
			簡易公募型競争		該当なし	
			その他の指名競争		該当なし	
		随意契約	公募型プロポーザル		該当なし	
			簡易公募型プロポーザル		該当なし	
			標準型プロポーザル		該当なし	
	その他の随意契約		0件			
	物品・役務等	一般競争		53件	うち、1者応札案件 12件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争		該当なし		
随意契約(企画競争・公募)		該当なし				
随意契約(その他)		1件				
(特記事項) 落札率が高い案件、1者応札の案件を抽出して審議						
委員からの意見・質問、それに対する回答等		意見・質問		回答等		
		○(B004林道工事)「これまでの同程度の規模の工事の入札参加者数の実績が極めて少数であることから」予定価格はC等級に該当するがD等級に入札資格を拡大したとのことであるが、1回目の入札参加者がなかった場合に拡大することは考慮しなかったのか。C等級規模の林道改良工事の入札参加者がそんなに少ない理由は何か。		○本工事以前の同等級(C等級)の工事についても、同じくB、C又はD等級としてきたところ。なお、C等級規模の林道改良工事の参加者が少ない理由は中規模の土木工事事務所が当地区に少ないことが考えられます。		
		○(B004林道工事) 応札者が1者となった原因に、「災害復旧・公共工事の発注が急増したことから」とある。予算確保の問題もあると思うが、台風などの災害後、関連の工事が増えることを予測し、公告を早めることで入札参加者を増やすことはできないか。		○委員のご指摘のとおり災害が発生した場合には、早期発注により工期的にも余裕をもった工事を発注することに努めてまいりたいと思います。		
		○(B004林道工事) 加算点算出表において、足切り点数のようなものは設けられているのか。また、すべての入札者がその基準点に満たない場合にはどのように対応するのか。		○技術提案加算点については、「足切り点数」のような基準点は設けられておりません(加算点がそのまま加算されるのみ)。		

<p>委員からの意見・質問、それに対する回答等</p>	<p>○(D004治山コンサル)治山コンサルタント業務17件のうち本件の落札率が突出して高い。担当官等の分析で指摘された原因は、他の案件についても妥当するものであり、説得力に欠けるように思われるがどうか。</p> <p>○(D004治山コンサル)入札期間が標準期間より5日間短い設定とあり、年度末が理由となっているが、このようなことは頻繁にあるのか。</p> <p>○(N011地拵外)第2回入札になった場合、辞退者に対して第1回入札の入札額についての情報は教えているのか。</p> <p>○(N013地拵外)応札者は1者であるが、特別な競争参加資格欄に「同種事業の実績」等の記載が何もないのは何故か。</p> <p>○(N013地拵外)静岡森林管理署内の業者では応札者以外には本件事業を請け負う余力がなかったようだが、今後同地区では入札制度維持が困難になるのではないか。予定価格が5000万円超の案件に入札参加が1社ということは、署内の造林生産事業を行う事業体が独占か寡占状態にあるということか。</p> <p>○(N013地拵外)今回の落札者はこれまでも本事業の同様事業を落札・受注したことがあるか。(株)遠州造林は、入札業者名欄に載っているのに入札もせずに辞退しているのは何故か。</p> <p>○(N013地拵外)落札者が特定非営利活動法人であるが、特定非営利活動法人の入札参加は増えているのか。</p> <p>○(P012標柱作成外)その他役務の平均落札率72.5%に比較して本件の落札率は相当に高い。「落札率が高くなった原因」としてコスト増が指摘されているが理由として疑問である。第2順位の入札価格も予定価格を僅かに上回っているに過ぎないことから物品・役務の特性による積算容易性に原因があるのだろうか。</p> <p>○(P012標柱作成外)物品・役務調達(一般競争入札)のなかで本件を抽出した理由は何か。</p>	<p>○契約担当官等の分析では、「単価抜きの設計書や歩掛等について公表されていることから、予定価格に近い積算が可能であったと考えられる」とされていますが、予定価格に近い積算は他の案件についても該当するものでありますので、ご指摘のとおりであると考えます。本件につきましては、現場条件、業務内容及び業務期間を総合的に勘案し、今回の落札者の場合、会社として契約するメリットがあると判断した金額による入札金額であったと考えます。</p> <p>○入札公告から入札に至るまでの標準的な期間としては、①公告、②競争参加資格申請受付(公告の翌日から10日以上)、③競争参加資格の確認・通知(受付後7日以内)、④競争参加資格がないと認められた者からの説明要求(通知後7日以内)、⑤説明要求に対する回答(要求受付後7日以内)、⑥入札となっています。このうち③及び⑤については、発注側の事務手続きに要する期間であり、適宜、短縮することができます。本案件については、繰越案件でもあり、入札、契約後に繰越額の確定を行う必要もあつたことから、標準的な期間を短縮して実施したものです。</p> <p>○開札後、入札結果については、入札会場で読み上げることになっています(順位、金額(総合評価落札方式にあつては評価点))。開札の結果、不落札となり、再度入札が行われる場合、入札参加者はこれらの初度入札の結果を踏まえ、入札金額等を決めることとなります。</p> <p>○申し訳ありません。「同種工事の実績」と記載すべきところ記載漏れでした。</p> <p>○造林を請け負う業者は作業員の高齢化などもあり年々減少している現状です。継続した事業の発注による事業体の育成を図ることが重要と考えています。</p> <p>○特定非営利活動法人小山緑志会は過去にも同様の事業を受注した実績があります。(株)遠州造林は県をまたいだ広域な範囲で受注実績のある広域事業体です。同時期に他県等で落札したため今回辞退したものと推察しています。</p> <p>○入札参加資格は全省庁統一資格であるため資格申請が増えているかは不明です。関東森林管理局管内においては、特定非営利活動法人の参加は、本事業のみとなっています。</p> <p>○令和元年10月の台風19号は、中部・関東・東北地方など広範囲に記録的な大雨などをもたらしました。茨城県も例外ではなく、鉄橋の流失や河川の氾濫など多大な損害を被り、現時点でも各種の復旧工事が多数行われています。このような背景により事業者の手持ち事業が多いと想定される中で、設置工事費などは前年度末に通知された人件費で予定価格を積算するなど、地域として高値水準となっていることを考慮しなかったことが高率な落札率につながってしまったと考えます。</p> <p>○抽出案件は、関東森林管理局入札等監視委員会設置要領に基づき、落札率95%以上の事案について、原則落札率が高い順から抽出しています。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>特になし</p>	

関東森林管理局入札等監視委員会苦情処理会議審議概要

開催日及び場所	令和3年1月13日（水） 書面審議			
委員	橋爪 健（弁護士） 武藤善行（公認会計士） 天笠美由紀（ジャーナリスト）			
再苦情申立概要	申立日	件名	契約方式	契約月日

	内容等 該当なし			
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回答	
委員会による意見の具申又は勧告の内容				